

平成 27 年 4 月 1 日

京都市立白河総合支援学校 学校教育目標・経営方針

校長 松田 実

教育理念

- 人は、自ら学び、成長・発達することができる
 - 人は、自らの持てる力を活かし、社会に貢献することができる
 - 人は、生涯にわたって自己実現を図り、豊かな生活を送ることができる
- これらのことを踏まえ、本校は、地域や企業と協働してキャリア（生き方探求）教育を推進する。

教育目標

自ら働く力を高め、働くことを通して社会に貢献し、自らの未来を切り拓く人を育む

目指す生徒像

- 自ら学び、自らを高めようとする生徒
- 自己実現を図る生徒（自らの未来を切り拓く生徒）
- 自らを律する生徒（自分自身をより良くするように自分でコントロールする生徒）
- 自ら健康管理に努める生徒
- 社会に貢献する生徒

目指す教職員像

- 一人一人の生徒を徹底的に大切にする教職員
- 自らキャリアアップを図る教職員（高まり合える教職員集団）
- 職業人として生徒のモデルとなる教職員
- 学校経営の視点を持つ教職員
- ライフワークバランスをとる教職員

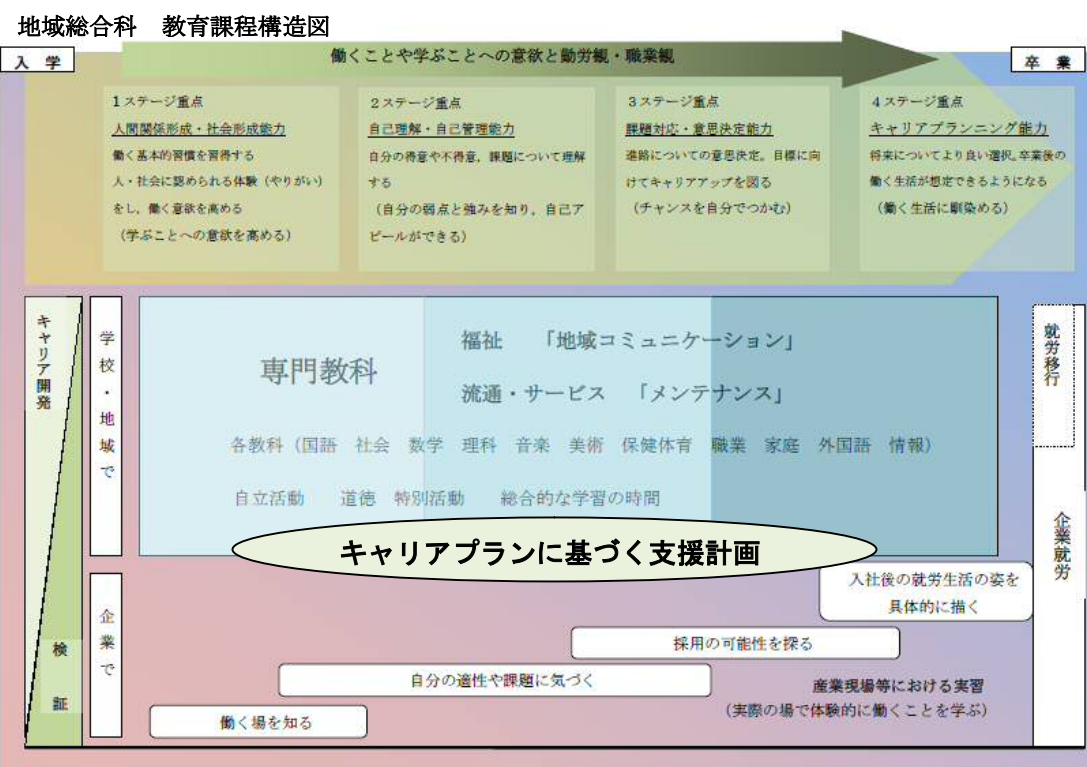
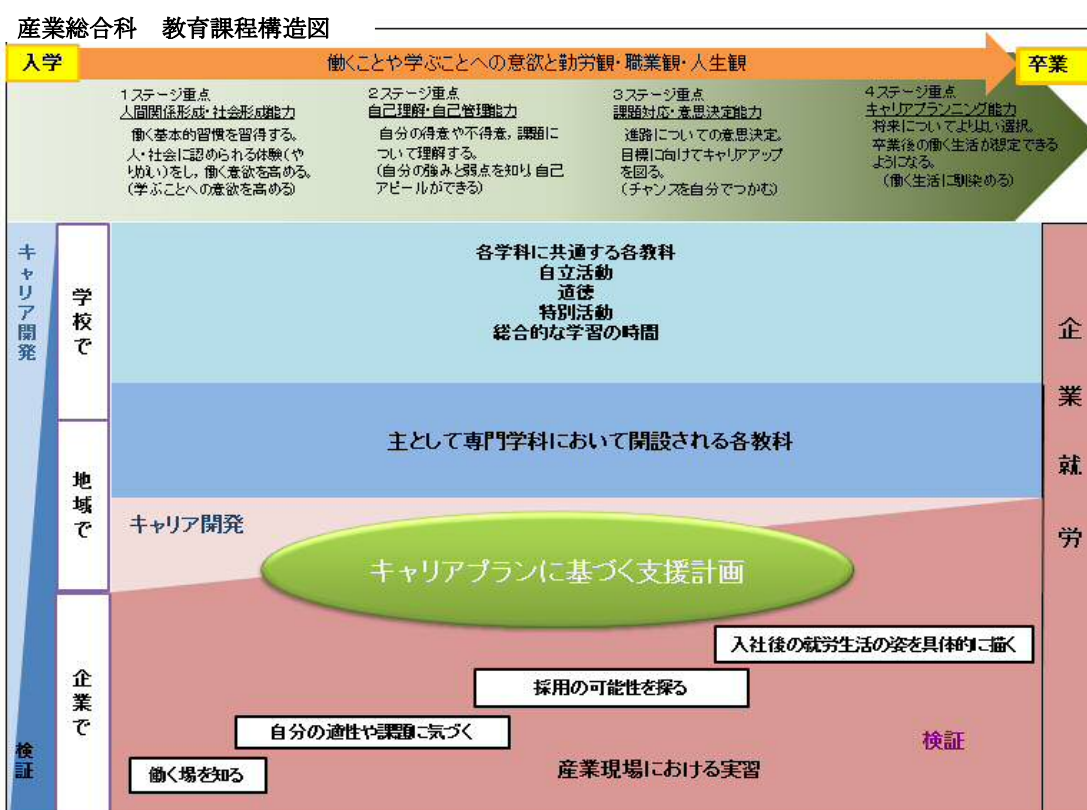
目指す学校像

- 地域に開かれ、地域や企業と協働し、社会に貢献する学校
- 生徒・保護者・市民から信頼される学校
- 「育」支援センターを中心に総合育成支援教育に関する相談センター機能を発揮する学校

経営方針

1. デュアルシステムの充実

企業とのパートナーシップによるデュアルシステムのさらなる充実を図り、生徒の働く力を着実に育成する。



(1) キャリアプラン（「個別の包括支援プラン」）に基づく支援計画の作成

何のために、何を、誰が、いつ、どこで、どのようにするか

長期の企業実習による人材育成

（本校：3年間で30週間程度　東山分校：3年間で20週間程度）

(2) 働く力、未来を切り拓く力をつけるための指導内容・シラバスの見直しを進める

① 実習（演習）と教科（専門教科・共通教科）を関連付け一体化したカリキュラムを推進する

知（確かな学力：働く力・言語活動）　＜実習の充実，振り返り・気付き・意識化＞

徳（豊かな心：生活を楽しむ文化・支え合う仲間）

＜文化的教科・活動の充実，仲間づくり＞

体（健やかな体：仕事をやり遂げる体力・安全）＜健康管理，スポーツの奨励＞

② 学年集団の横のつながりと教科（専門教科・共通教科，サービス）集団の縦のつながり，さらに就労支援を関連付けた指導体制とする

・教職員が様々な学習活動〔産業現場実習，教科（専門教科・共通教科，サービス），地域協働活動等〕に入り，フレキシブルに動ける指導体制とする

③ ステージを意識した指導（ただし学年進行にはこだわらない）

各ステージ通過の観点を教員・生徒・保護者が共有する

キャリア開発の考え方



(3) 関係機関や各種経済団体等との連携や協力

- デュアルシステム推進ネットワーク会議（企業関係者とのネットワーク）
- 巢立ちのネットWORK会議（関係機関との支援ネットワーク構築）

(4) 職場開拓の推進

全教職員、PTA が職場開拓に当たり、実習先や就労先の確保に努める

2. 地域協働活動の共同開発（学びの環境をデザインする）

「自己肯定感や自尊感情を高めること」に焦点をあて、働くための基盤となる資質や能力を育成するために、個々の生徒のキャリア発達を促す「学びの環境をデザインする」取組を推進する。

地域協働活動を行うことで、地域の方の活動の場などを作ることができ、地域に貢献することができる。また、地域の方（多様な年齢の方たち）からの求めに応じる多様な活動は、生徒の社会性とコミュニケーション力を高める効果が期待できる。活動を通じて、「役に立っている」「求められている」と実感することや、「大事にされている」「感謝されている」と感じることは、自己有用感や自己肯定感を高めていくことにもつながり、社会の中で働くためのベースとなる力が育成されていくと考える。

地域協働活動の開発は、地域と共同して、また、京都市立総合支援学校職業学科3校が共同で行う。

(1) 地域に開かれた学校から地域と協働する学校への進化

- ① 学校運営協議会を通じた地元関係者の学校運営参画
- ② 東山分校地元自治連や社協、包括支援センター、児童館、開晴館等との協働
 - ・ 夏祭り等への協力・参加
 - ・ 配食サービス・高齢者お楽しみ会への協力・参加
 - ・ 児童館や開晴館との協働の模索
- ③ 左京（傘下団体を含む）・岡崎社協・包括支援センターとの協働
 - ・ 高齢者体操教室や配食サービス等の継続・発展
- ④ 養正地域・包括支援センターとの協働
 - ・ 各専門が協働した事業分担
 - ・ 図書室の整備・運用（養正小との連携や東山分校図書室との連動を含む）
- ⑤ 職場開拓・職域開発を念頭においた医療法人や社会福祉法人との協働
 - ・ 介護予防事業への協力
 - ・ デイサービスセンター等での演習
- ⑥ 地域関係者・学識経験者との協働
 - ・ 本校の地域感謝祭
 - ・ 社寺等協働した東山での落ち葉コーポレーション事業（ヒラタケ生産事業等）

(2) 新しい地域コミュニケーション事業

- ① 東山分校におけるニーズの把握と事業の企画
- ② 岡崎、養正、東山の3拠点における地域協働事業と各専門教科演習の開発
- ③ 様々なリソースをつなぐための組織や企画

3. 職業学科3校の持つリソース（教育資源）の共有化・プラットフォーム化（学びの環境をデザインする）

京都市立総合支援学校職業学科3校の教育資源（各専門教科の特長や、白河・鳴滝両校がこの10年間で培ってきた指導のノウハウ、各学習施設等）の共有化を図ることにより、生徒それぞれの個のキャリア発達に即した、必要としている多様な学びの場を提供することが可能となる。学校を越えた生徒同士の教え合い、学び合いの場ともなる。

職業学科3校の協力体制の下、より柔軟な指導体制を構築し、多様な学びの場を活用して就労支援を進めていく。

- (例)
- ・白河総合の生徒が鳴滝総合に行き、メンテナンス(鳴滝)の学習に入る。
 - ・養正サテライトの喫茶サービスや読み聞かせ等に鳴滝総合の生徒が入る。

4. 環境整備

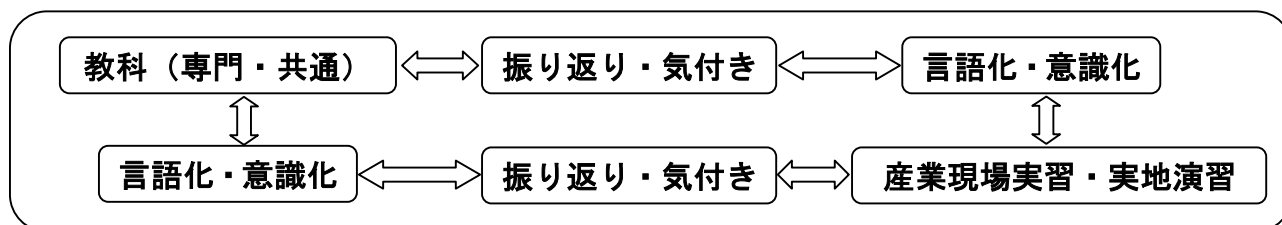
- (1) 生徒も教職員も、整理・整頓・美化に努める
- (2) 来客をもてなす明るい雰囲気为学校づくりを進める

5. 学校経理・事務

- (1) 学校予算の適正で効果的な運用に努める
- (2) 間違いのない文書作成および遅滞のない提出に努める

指導の基本

- (1) 経験を振り返り、気づき、言語化し、それに基づき自己選択・自己決定して、達成感や自己有用感を積み上げられるよう支援する



- (2) 本人の気持ちに寄り添いながら自ら気付いたり修正できるための支援を行う
- (3) 生徒の主体性を引き出し、生徒同士が育ち合う学級づくり・環境づくりを推進する
 - ・いじめ、差別を許さない学級集団を育成する
- (4) 全ての学習活動を通して「職業人としての」常識やモラルの指導を徹底する
 - ・挨拶やマナー・ルール等の意味や意義の理解を通じた規範意識の確立を図る
- (5) 全ての学習活動を通して「職業人として」必要な健康管理と安全管理の指導を徹底する

- (6) 社会人としてのライフスタイルを見据えた性と生の教育の充実を図る
- (7) 問題が起こったときは、組織とネットワーク全体で解決を図る

事業・各校の課題等

◆文部科学省「キャリア教育・就労支援等充実事業」（地域協働活動協働開発PJ）推進

（職業学科3校での共同研究）

- ・地域協働活動の共同開発
- ・3校のリソースの共有化・プラットフォーム化
- ・「自己肯定感」がどのように高まっているか等についての研究
- ・ICTの就労支援・地域協働活動等への活用についての実践研究（指導実践を通して）

◆岡崎本校…徹底した就労支援

- ・デュアルシステム、実習の充実
 - ・専門教科の内容・シラバスの見直し
- 実習（演習）と教科（専門教科・共通教科）を関連付け一体化したカリキュラムの作成

◆東山分校…28年度本校化に向けた準備

- ・4つのサービスの確立（内容の固定化ではない）
- ・就労支援体制の確立
- ・本校化に向けた諸準備

目標を具体化するための3つのプロジェクトの推進 【学校運営協議会】

生徒のキャリア開発の視点に基づく地域社会・企業との協働組織

キャリア開発＝能力開発＋環境開発

学校内で完結しない教育

デュアルシステム（企業と協働）

地域コラボレーション（地域と協働）

産業現場実習

学校での教育活動

地域協働活動

支援部会 学年会 教科（専門・共通）ブロック・サービス会等

ともに拓く
キャリア開発PJ

ともに創る
地域活性化PJ

ともに支える
地域貢献PJ

地 域 協 働 活 動

デュアルシステム推進ネットワーク会議

京都市の総合支援学校
企業経営者・人事担当者
就労生活支援事業関係者

巣立ちのネットワーク事務局

京都市立総合支援学校
校長会・進路主事会
企業経営者・就労生活支援事業関係者

企業から学び企業と連携した就労支援事業の推進

- ★就労支援事業
- ★キャリアサポート事業
 - ①就労に関する相談
 - ②入学希望者支援

左京地域支援ネットワーク

左京福祉、府警、左南・高野包括C、介護予防C、
岡崎自治連・社協 NPO 諸ボランティア団体

修道自治連・修道社協／東山社協

東山福祉 東山包括C 児童館 京都女子大等

地域主催の学校を利用した
行事への参加や地域と協働
した行事の実施により地域
社会を活性化する

- ★地域感謝祭
- ★地域協働行事
- ★地元行事 参加・支援
- ★地域協働農園他

日常的に専門教科の演習と
して地域の人たちと協働し
て地域福祉に貢献する

- －分校事業の開発－
- 地域支援協働事業
- ★高齢者支援関連事業
- ★配食サービス
- ★コミュニティ喫茶
- ★その他コミュニティ支援

夏季職場開拓

キャリアコンサルティング研修会

P T A

地域感謝祭参画

地域支援事業参加

学校運営協議会（コミュニティスクール）